

◆寄附金の使いみち

観光資源の維持、景観の保全及び整備に関する事業 (2,599,300円)

祖谷ふれあい公園モノライダー修繕工事 (2,599,300円)

西祖谷山村尾井ノ内の祖谷ふれあい公園のモノライダー6台の運転に必須な駆動軸、従動軸の交換を行いました。また、モノライダー5台のシーケンサーの交換も行いました。

文化財の保全及び活用に関する事業 (2,360,400円)

市民文化祭事業補助金 (1,300,000円)



三好民文化祭実行委員会に対する補助金として、文化振興事業に活用しており、令和4年10月、11月の市文化月間中に市内各所で開催された文化イベントを宣伝・広告するとともに、自主開催イベント「北海道歌旅座 ザコンサート2022」をコロナウイルス感染防止対策を講じながら開催し、約300人に来場いただきました。

登録文化財説明板・指定文化財説明板の新設及び更新のための修繕 (251,900円)

順次、文化財説明板の更新及び新規設置を行っている事業で、令和4年度は令和4年5月に市指定天然記念物（植物）に指定された井川町井内西地区に所在する「薬師岡のケヤキ」、平成2年11月に県指定文化財（建造物）に指定された池田町西山岡田の「川人家長屋門」、平成17年12月に重要伝統的建造物群保存地区に選定された「三好市東祖谷落合」について、訪れた方に貴重な文化財をわかりやすく説明した説明板等の新設及び更新のための修繕を行いました。

指定文化財保存修理等補助金 (808,500円)

昭和49年に県指定天然記念物に指定された「東祖谷の社叢群」粟枝渡八幡神社のエゾエノキ倒木に伴う倒木撤去、昭和50年に市史跡後に指定された「八幡神社史跡」の先の倒木による社地破損の修理等を行いました。

人材育成に関する事業 (804,690円)

薦文也杯野球大会等 (804,690円)



感染防止対策を講じながら、中学生を対象とした「薦文也杯選抜野球大会」、小学生を対象とした「薦文也旗争奪大和チャレンジカップ」を開催しました。

また、徳島インディゴソックスの選手による中学生、地元スポーツ少年団を対象とした野球教室や指導者講習会を開催し、次代に活躍する選手の育成を図りました。

その他三好市発展のために市長が必要と認める事業 (20,803,196円)

集落支援包括事業（背負い式ブローワー購入） (430,000円)

市内の自治会等が実施している市道・農林道等の除草作業を支援するため、貸し出し式の背負い式ブローワーを購入しました。

定住促進事業 (474,269円)

三好市出身の関西在住者で組織する近畿三好ふるさと会連合会の会員相互の親睦と交流を図ること、また、ふるさととの交流を深めることで、市の活性化を支援するための事業に活用しました。

地域婚活応援事業補助金 (15,000円)

三好市内の結婚を希望される方に対して、結婚支援を行う「とくしまマリッジサポートセンター」が企画する「マリッサとくしまマッチング会員」の登録費用（半額）として活用させていただきました。今後も、素敵な出会いのサポートができるよう事業を進めていきます。

高等学校生徒下宿等費用助成事業補助金 (5,324,000円)

地域の活性化と将来に向けた若者の移住・定住につなげるため、三好市内の高等学校に進学する生徒の保護者に対し、下宿等の家賃に要する費用の一部を助成しました。

大川橋記念モニュメント設置工事費 (385,000円)



山城町の市道大利祖谷口線沿いの吉野川に架かる大川橋取り壊しにより、建設当時から昨今までの橋を辿る歴史や役割を周知するとともに、地域から愛されてきた大川橋の功績を未来へ語り継ぎ、市民や観光客により親しまれるよう、モニュメント設置の企画・施工を行いました。

総合的学習の時間補助—小学校・中学校 (2,472,600円)



市内13小学校、6中学校の総合的な学習の時間への補助金として活用させていただきました。総合的な時間では、地域の自然、歴史、文化、人、仕事等について、探究的な学習に取り組んでいます。

写真は、酒粕を用いたお菓子作りに取り組んでいる様子です。

地域多目的施設修繕費 (2,654,069円)

廃校となった学校施設を地域多目的施設として地域の文化の向上と福祉の充実を図るために用いていますが、近年、老朽化が著しい施設について、修繕を行いました。

ジオパーク構想推進協議会補助金 (3,823,868円)



三好ジオパーク構想事業の推進と2024年度に日本ジオパーク認定申請を目指すことの啓蒙・啓発を図るため「啓発用横断幕・ノボリ」、三好ジオパーク構想の特徴を幼児・児童に伝える絵本「だんそうこわい」を作成しました。

また、三好ジオパーク構想推進協議会の活動として、ジオツアーや研修会を開催するなど、三好地域におけるジオパークの普及・啓発やジオガイド等のスキルアップに取り組みました。

中学校英語検定料補助金 (166,200円)

平成29年度より、中学生を対象に英語検定料の補助を実施しています。生徒の英語力及び学習意欲の向上を図るとともに、生徒の英語に対する学習機会の位置づけ、英語検定の資格を取得しやすい環境の構築を目的とし、検定料の1/2を補助するものです。令和4年度は85名が本制度により、補助を受けました。

避難所用備品購入費 (1,980,950円)



南海トラフ大地震や台風時の土砂災害時の避難所生活に備えて、プライベートルーム、災害時用トイレを購入し、また、災害時の迅速な被害確認や情報収集、捜索救助等に使用するドローンを購入しました。

大会参加負担金（教育活動費） (819,540円)

池田中学校生徒の全日本中学校陸上競技選手権大会、全日本中学校弓道大会、三野中学校生徒の全国中学校駅伝大会参加にあたっての交通費、宿泊費等を負担しました。また、中学校新人大会西部ブロック大会の大会参加費も負担しました。

吉野川支流域名勝調査事業 (1,260,000円)

令和2年度から令和4年度にかけて、本市全域を対象に名勝地に関する多面的な調査を行い、学識者からなる調査委員会において、名勝地を特定するための詳細調査を行い、学術調査資料として調査報告書を作成し、刊行しました。

旧池田第一中学校グラウンド防球ネット設置工事 (997,700円)

グラウンド外にボールが出るのを防ぎ、施設の安全性を高めるため、旧池田第一中学校のグラウンドに防球ネットを設置しました。

使徒指定なしの事業 (9,177,580円)

防犯カメラ設置—幼稚園・小学校・中学校 (6,267,580円)



防犯カメラ未設置の三好市内の幼稚園4園、小学校5校、中学校2校に防犯カメラを購入し、設置しました。防犯カメラを活用し、学校安全計画に基づく安全教育において、不審者侵入に対する初動対応、避難訓練、防犯教室を実施し、児童・教員の防犯と危機管理意識の向上、実施に向けて取り組んでいます。

環境配慮型ワーケーションモデル創出補助金 (2,910,000円)

市や県、企業等らで構成し、「脱炭素の推進」と「都市部から地方への新たな人の流れづくり」等を推進する「環境配慮型モデル創出会議」での「脱炭素の取り組み」等に活用させていただきました。